一概政治の平

三年・全く今の社會では、日本の要だこ思ひます

十五歳以上は、親の承離がなく ても中断に細姫出來るのですが これからは一生症親の飛離がなく

つてあられますので

お話を聞

新民法は進步的

になる。大分選歩して居ます遺留分以上に分配が出來ること

遠留分分配矛盾

何ういふので

結婚したかつたらごしく自由

そんなこさは時代逆行だ

諾否何とも

成べく早く返事する

若槻顧問談

日若郷歌次郎氏歌静芸後十一時代 | 次版派職 成等しては結局独まる本部にて影響、平野、多田氏等十 な受諾するにおいては結局独まるからでは、平野、多田氏等十 な受諾するにおいては結局独まるので見られてゐる

の 山本駅を跡の駅の意向を膨脱し 上の資料に供したが、頭に午後は のは本駅を跡の駅の意向を膨脱し が、頭に午後は

の後任機数にはこれがこれが状安値で指定を取り、大は江木機様、館に意見を假じ根態を即の論を膨れては後的機能問題につき傷別と根で、おいては後的機能問題につき傷別となる。

おどの意を表したこころが政府なるは様であるが、若模氏にし

さだ。 をべく早く極めて御返事とやう 震の迷惑にもなるのであるし成

事さらた次第である

聯合會開會の

内府を訪ふ

安達兩氏と會見、その旨回答する筈『年後一時常』山本顧問と會見の結果遂に總裁を受諾するに決定、『東京特電十一日發至急報』若槻顧問は本日午前十一

今夕正式に江水

根は感激して邦受した、常分銀日本前八時半半乳五合御下賜あり首は感激して邦受した、常分銀日

若槻氏が

受諾ゼ

少壯派も納まらう

後任問題の

は今朝部日首相か見舞い

間島鮮人民會の

撤廢を密令

吉林省當局が各地方官憲に

ちを促す

少壯派、鐵相と會見

首相に説解を求む

後車群令 【※京十一日

經で關東長官に申込むべしさ期限は五川十百迄に海務局長を期限は五川十百迄に海務局長を

輔遼陽衛戌病院附 二等軍醫正 兵頭 周吉

ロ午前八時者列車にて來 「中前八時者列車にて來

時着列車にて來連遼(之 領事館員)十

幹事長が結束を要望

台夕正式に

諸

果汁、牛乳等である果汁、牛乳等である

若槻

氏は鐵相と

の對策を講ずるの日むなきに至らんこと

民政府と酔り法権交渉はデツドロツクに逢着したとの宣言的且い正常なるな立題する、予は治法撤殷が五月五日の國民會議前に滿足な解決、現在世界各國中支那か唯一の治外法機國さして取發されてゐる事實は何よりも不完備は觀察者の主觀によるものでかゝる不確實な意見な基礎さして撤致を拒否運慨である、各關係國は我法廷及司法制度の不完備を無條件撤廢不容認の口實運憾である、各關係國は我法廷及司法制度の不完備を無條件撤廢不容認の口實

歐亞連絡の運賃

一割五分値上げ

十日日本側に通知

園この交渉は比較的国内に進んであるが最も重要な一、二點解決せ

王正廷氏は本日治法徹晚問題に對する國民政府の最後的態度を表明した。文の

支那最後態度を宣言

打ち

合せて回答

質見後安達内相語る

閣組織者に大命降下となるが大命降下は十四日乃至十五日となるで後任内閣につき御下間あらせらるべく西園寺公の奉答により後機内陸相がこれを闕下に捧呈する事とならうが畏き邊りでは西園寺公にの大會直後臨時閣議を開き總辭職となるであらう、右の辭表は宇垣員 評議員聯合會にて濱口總裁指名の形式を待たねばならぬのでこ員 評議員聯合會にて濱口總裁指名の形式を待たねばならぬのでこ員 評議員聯合會にて濱口總裁指名の形式を持たねばならぬのでこ

牧野内所を訪ぶた

倉の別莊に居にが時局の急に備へ

では、一日午前十一時十八分東京騒

二日に總辭職を決行

書書教授の室にて十時五十五分活種で食販し前根の談祭の総るかかつて病前機で食見したが食見は 岩槻氏首相と 會見 解脱を訴ふた潜襲氏は中島秘書館を伝

着が単にて 時家した

Ħ

日一十月四

1.800CC(- 4)85.00

上海 の海軍浮 遂に外交々渉に移る

寫真×印は問題さなつた浮標《上 ない。 で遂に列國さも外交問題さして外交記

が多過ぎらんだよ、この頃は毎「そんな事があるもんか、煙草

を害して咳ばかりしてござみ、

何な感じてか昨年暮れから犬を

キラキラ

種の観察事項

潘復氏任官 水利屯墾督辦に

運動が足りないんぢやないで

眼の神

1 - 聖と幣原外相が政府側の 意な物して福府側へ候補者を持 取方の意見一致せず一頓挫を来 水井の意見一致せず一頓挫を来 水井の意見一致せず一頓挫を来 水井の意見一致せず一頓挫を来 水井の意見一致せず一頓挫を来 水井の一般を得て近く歌戦する記 たてゐた模様であるから今回こ にてるた模様であるから今回こ にな補充することでも一名乃至 におけて、 は本とのは、 は本と、 大きな・日大連丸にて歌連らた神氏 のは、 は本と、 のは、 になれた神氏 のは、 のは、 にないで、 はないで、 は

とほしてゐた。

治療

殷未解決の場合

最近少々健康一个

…万畝の愛好家だつた安田さんるがれ」・

自

日主的對策を講ず

ひょ人殺しツ」

くとあふれるい

お梅粂之助 (今野志道軒)

★ A Media Media

衆の大公

腦補 精 傳

人生諷刺・・

◆多毛症の女と博士(戸川貞雄)

に 川大河で

公與紅劑史

男態婦が等、4 一芸五十一等の窓膜・二妻五十一等の窓膜・三代家光の郷紙官隊、三代家光の窓膜・

を赤硬々にあばいて細環無比を赤硬々にあばいて細環無比

サ大、 櫻内駅氏協議の結場十三日 の若規に駆で安選、 注木駅相 ご 能 の若規に駆で安選、 注木駅相 ご 能 が で は お 機氏の 転 起 か 表 が こ た が た め 本 線

【東京十一日簽】民政

薫後任總裁一の就任力な影響された若規心

次郎 若槻氏口説落し

反對を抑へると共に

統領な極力避くるが針の機であると 態度無常の変態に努むらさ 英に一

分に會談した

土屋代議士

滿鐵社員行賞

十一日風邪にて自宅引籠中

濟南事變に關し

幹部會出席非難

九時私邸にて田中女相の訪問を受

鐵相文相等會談

信夫と然ういつた矛盾は、

少壯派の

三宅 自由部版をして終ったもの ない、こんな矛盾は他にも渡らいたったっているならば対力はあらうが、 相響の二つあるが、家督相響は 一で大子以下に遺域が分配された で大子以下に遺域が分配された で大子以下に遺域が分配された で大子以下に遺域が分配された

の改正には

【東京十一日数】十

反對論

運動が急務

の平等

新民法は自由結婚否認

正職な遺言さへあれば、長子のない、それが今度の改正では、 ればなら その運動をやるべきでせう との運動をやるべきでせる からできる かいっと 関ながか かまして兵隊に 松山 長谷川君なかか黄の先に、 、この感情人が大い 、この感情人が大い で、この感情人が大い で、この感情人が大い

ンドン會議の功勢により

に男爵

ける御裁可を仰ぐ

水先案內人補充

は操動して居る。野たれ死に死んは操動して居る。野たれ死であ、さ政友會であれまでの紛慢が大気、窓に

さ民政黨では操御して居る。

▲ 艷魔切店高尾 (翻) 大鳥多星

総版する、そして書名・また たつたが、今は炭繁に、墨本 だつたが、今は炭繁に、墨本

授旭日大観宝金盃一組を賜ふ 大使正四 永井 松

永井 松三

班 安保 清種

諸懸案解決

倫敦條約行費ける打合はす

(精輔) 淺原 六朗 (辞報)悟道計圖玉

をです、だから縁を運動する いが、民法歌正についての婦人 いが、民法歌正についての婦人

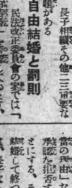
信美 長子

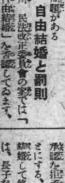
● 民忠改正委覧會の家ではつ ・ 日由結婚と罰則

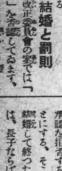
長子相綴その他二三軍要な くては出來ないここにもやうと いふのです、それぢや親の疾亡 を得ない内に総紙して終った場 合は、何うかさいふさそれには でいるのがで、例うかさいることれには でいるです。それぢや親の疾亡 でいることにもやうと

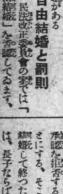


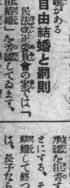


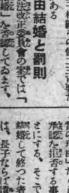


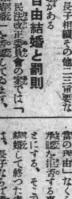


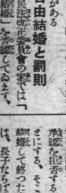


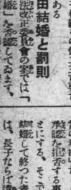


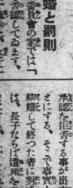








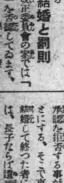


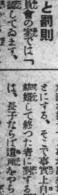






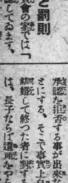


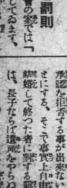






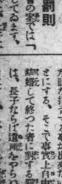


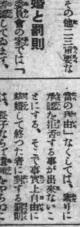


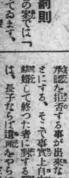


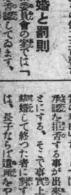




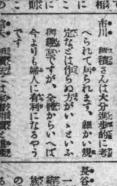
































h

直

▼・・大津運輸場では漸級運動會 を践はせる乳ましい光歌を呈する を所で全済的のスポーツの儲し糖 はれ、後五十間で云ふ最大選問動 ばれ、後五十間で云ふ最大選問動 ばれ、後五十間で云ふした十名 進

マ…また午前九時から大連道場

橋一味の腕を知

一味に加つた者である、なほ宮*

處せられ昨年六月出獄し

かして斬り込んだ時、居合せた大 幅方へ工藤喜太郎が短りをひらめ

さ化し十官乗馬隊三十名は陸軍務が一部市街一帯は再び水兵の町

特校集會所において<u>新運搬要</u> 特校集會所において<u>新運搬要</u> 特校集會所において<u>新運搬要</u> 大部分を招じ

勢の無観を許され心臓さに

局松宮兩殿下

紐育に御着

北満朝鮮共産黨の

首魁や遊興中逮捕

昨年五月哈市の總領事館襲撃

小逞團は離滅せん

能主能の軍樂隊と映画の好べた職権で等、また夜七時からは昭和職

受けたが、北命危馬

午後中山

すべく自宅を飛び出し、

四職に影鳥町瀬野より万木町本通り、安市民約二百名は屋門、野鳥、の六千五百名は草艦族、軍郷隊を先名、師師學室生徒四百十六名、の六千五百名は草艦族、軍郷隊を先名、師師學室生徒四百十六名、の十の郷原名残りを止めた十一日後、た午前九時からは第二代學校出位三百三、大 旅融圏外部沿中の第一艦隊では前一校の案内で戦機の見事をなし、大 旅融圏外部沿中の第一艦隊では前一校の案内で戦機の見事をなし、

た午前九時からは第二八事校生徒

其刀で 三上から蘇幹

際を買い血まみれてなって親分

を取押へ、機見は山口の共死開 人さもて宮崎、三上、守谷の三

戦跡を見學

旅順碇泊の第一

だが却つて組み伏せられ、

唯執を 野である中概

膝喜太郎("m)が飛び込み

の仲裁を買って出たこと

を殴がされば破数ケ所に打った。 ではない。工産は営締巻

を買ひ「仕返らに來るぞ」と

前科者の札附き 方ともに 亂鬪者全部檢學さる

中の極好るくはは繋いて二階から もあつた、被黙者工廠は目下大連 もあった、被黙者工廠は目下大連 もあった、被黙者工廠は目下大連 取止めるらしい 『富真は加害者の

職の茲は、文身の女句の好くあた 職の茲は、文身の女句の好くあた 大生朝監如夢幻」と文身 してゐたが、他撒り・りたる中に 大生朝監如夢幻」と文身 してゐたが、他撒り・りたる中に 大生朝監如夢幻」と文身 一次の表別を暗示するかのやうであり三十餘年の人生夢寐の間に繋びら三十餘年の人生夢寐の間に繋びら三十餘年の人生夢寐の間に繋び 兩足切斷 十一星前

学き各種會社常報品、共用品に就 一本部行經費約三朝部滅の 一本部行經費約三朝部滅の で表示されてあるが、弱つ

日玉山に参拜し

いての緊蜒化統一を設りついあったことが、十一日より保貞を各際になる先の本社関係事務用の各たことを表すること

みでなく經費の點にも相當 るる みでなく經費の點にも相當 るる みでなく經費の點にも相當 るる 馴染客の留守宅で

市內運獲町相生權拘藏效一二三二 藝妓が瓦斯自殺 金に絡んで痴話喧嘩の末

職な敷き鑑所から瓦斯衛を引込み 等地朝鮮編兵融會こと東宮八良氏 がの留守宅を訪れ東大艦の間に漸 がの留守宅を訪れ東大艦の間に漸 自殺を職つて

波が高く

を重打、毎日のやうに女は男の一十一日も昨日荒天ののあふりで大 ヒサエと奥野氏は以前から菜馴 第二艦隊拜觀 英艦長の挨拶

婦人轢殺

財政・ 関水子、南側領間にて作業中不幸 所水子、南側領間にて作業中不幸 所水子「場在動線路方松木幸一氏 が大きな、中国大後一時四十分途に が大きな、非優は十一日午後三時 がが、十日午後一時四十分途に が付上線河部長より花輪一對か豐

産婦人

池。田 婦人小供服生物 たりめい ドンス、

羽二重 山小見科 **門醫院** 核公漿德 地掛二丁七即速浪

要名のない 通網費の審告に迷けず衛注進下さい 支店 東京 金澤・大阪、伏見、廣島、福岡、 支店 東京 金澤・大阪、伏見、廣島、福岡、 「京城、上海・シガコ 「京城、上海・シガコ

連鎖街 雅 銀座雀 ををかうまくて 御用巡 學譽秀天涯

莉正宗

❷極上 小樽壹樽御買上毎に 三越特製化粧クリーム 個

天婦羅には油屋の油に限る

サラダ油、サンオイル本胡麻油、落花生サラダ油

屋

商店店

松乃盛さしみ醤油一升壜詰 愛薄口 小樽壹樽御買上毎に 極上改薄口臺升場詰壹本 三越特製化粧クリーム 高級便箋一冊 壹本御買上毎に 御買上毎に

高級便箋一冊 又は縫針美麗袋入賣組 支 方 支 **登**

河

又

會 株式 大連商業銀行 大連市西通 大連市監部 電話1・0四川番店 店

て慣れの歌を合唱することになっ 關東長官ら

が縄張争

中橋派と原派が正面衝突し

d

名重傷

無賴漢の末路

文身の小櫻

は背部に武士さ大蛟が組んづほぐ殺害された小極正野ここ安岡和雄

長門訪問 答禮をなす 山本司令長官を訪い來感の挨拶を 長その他主なるものは小高丸にて 長その他主なるものは小高丸にて 海軍生活放送

田秘書館、田邊秘書縣長を進へ長 風域にて旅艦長門に山本部会長館 を旅館、交暖の後速艦に際ら旅艦 を旅館、対量の後速艦に際ら旅艦 特には影パ、厚東陽市合官、三龍の無觀者を驚かせついで同二時 中の第一艦隊に依頼し軍艦生活の大連放送局では十二日夜目下入河 等な取合せ海の勇士の實際生活を

經費節減と能率增進を圖り 滿鐵能率課で調査

行器を統

着取った 特別の た 特別を 発

市役所を試職疾掘し

イを裝ひ 安東附近で

明日の日曜日

春に躍るス

連中の高野佐三郡観士は同息高野織の高院者の野抗戦があり、又来

天氣豫教

婦人の病は婦人の手で

永井婦人醫院 電話三六六六番

帝王の煙草

店理代籍

煙草の覇

王

西の

時二

一般銀行業務確實に御取扱申候電話。四八五二等六九三〇番

物名 と言語というなないと言いない。

カン饅頭吹響機画 シトロン

最上の品質 最新の設備 最古の歴史 811

愛十五圓四冊三典特大 #00三一京東替振 ル番六十町郷六外市京東 部版出校學車動自 ヤイバンエ

社會式株酒麥鳞麒

九安東署では事他につき調査中であて、今手術をなしたが懸命した。目下であるので直に補緩響院に備ぎ込

模範

業卒月**ヶ**三 **銭十五**圓五 位本解 間 面 自 間 質

良品の

艦隊賣込み商戦から

惡宣傳

馬車夫が隱匿 風呂敷包みを

砂糖の缺斤を發見し處分

新面白くないのがあったので、 動ってゐるが、それは敵人消離 あってゐるが、それは敵人消離 あってゐるが、それは敵人消化 を表示なのは日の上か を表示なのは日の上か

机や本箱類の

みのもので催か一種品々々さ云ふがっく

家庭常識展

泂

て完成の客で、場合により沿線にこの貨地調査は大盛三週間程、に (連 OB 野球團 い顔觸を揃へた

チリ紙は福盛號

あす南流工專軍

小手調べ

料理店専門に釣銭詐欺を働いて料理店専門に釣銭詐欺を働いて料理店を明穫より同樣手段にて料理店を明穫より同樣手段にて料理店を明穫より同樣手段にて料理店を明穫より同樣手段にて料理店を開発した料果

連鎖街も出願 ベビーゴルフ

理論の店では目下各地で流行さ

一致三国會費二回であるさ

ミツト見物 ラ

次 河 又

● 1 全國各地試験日親表二銭封入申込者 全國各地試験日親表二銭封入申込者 全國各地試験日親表二銭封入申込者 ・ 2 会國各地試験日親表二銭封入申込者 ・ 2 会國各地試験日親表二銭封入申込者

天师

九七町透浪市連大 **服吳公茶德** 母九九三七話電



(カタログ進呈)

大連市伊勢町日本福南詰 還八〇九七番 支 店 沙河口仲町五七 電九二五〇番

米國チ 連商 町

鎖店

最店 南京 要集 (F) (E) (D) (C) (B) (A)

の二倍、價格は其の二分の一最新割。セット」の威力は外國品 0 威

大連市严速町一四七 日本賣藥會社 發賣元 振替貯金口座大連二番

記 同 合

大連日華自動車講習所

成す特に今期入學の特典を延期す本校事業部擴張の爲め運轉手二十名責任付養 授業料 入學日 外臺割引 外臺割引 四月に限り 十五日迄の間隨時



場合あることを考慮し、三ヶ月毎 にその野定價格を公表してゐる、 にを那は野頭南の三面であり、從來 でな行ふからこ言つても、 でな行ふからこ言つても、 でな行ふからこ言つても、 でな行ふからこ言つても、 でな行ふからこ言つても、 でな行ふからこ言つても、 でな行ふからこ言つても、 でな行ふからこ言っても、 でな行ふからこ言つても、 でな行ふからこ言っても、 でな行ふからこ言っても、 でな行ふからこ言っても、 でな行ふからこ言っても、 でながない、 はばれる。

かくて難に支地職が後来の税料がでは、一三分が悪に五分に現在するいなのである。

十四段の増微さみればよいわけである。

價格の現實五分に引上げるのであ

地 り五年九月に至る)に於ける福州 り五年九月に至る)に於ける福州

五年九月に至る)に於ける滿洲今昭和四年度(昭和四年十月よ

1 二段さなた。そこで差別地税機は のよ2552機画

海电4.704×0.05=

四六一、〇九〇

理、清酒(内地)が酒、煙草、茶 (本合 押麥、馬鈴薯、味噌、食 リン、燐寸、麻袋 リン、燐寸、麻袋 リン、燐寸、麻袋 リン、燐寸、麻袋

は六十七萬二千九百十二曜にて他へに特別階級にて一萬六千四百三十 に特別階級にて一萬六千四百三十 に特別階級にて一萬六千四百三十 に特別階級にて一萬六千四百三十 に対して

しても五萬曜程度の縁限高でありしても五萬曜程度の縁を受入れると

響を奥へないさ

出稅增徵

3

日本の高粱包米輸入稅引上

現在二割二分の送院総院を総合と 地域としてある。 いちこれを製器 せんさしてある。 いちこれを観器 せんさしてある。 いちこれを観器 はんさしてある。 いちこれを観器 はんさんだん ケ月間の機識を総合

では、
では、
では、
のののでは、
ののでは、
ののでは、

日

満鐵でも承認か

數字上尚ほ意旦不一致を缺く

+

たい とり輸入税が従来の一掃につき金 知らせたい たい とり輸入税が従来の一掃につき金 知らせたい とり輸入税が従来の一掃につき金 により輸入税が従来の 一掃につき金

當面の苦境

上旬豆的

不況打學深

保證貸付金

明ち現在總資本金一千五百萬圓明ち現在總資本金一千五百萬圓、新林二十四萬株、一三百萬圓、新林二十四萬株、一三百萬圓、新林二十四萬株、一二百萬圓を減資して、資本金一二百萬圓を減資して、資本金一二百萬圓を減資して、資本金一十三萬株を五十萬圓、補込四百萬圓、新四十三萬株を五十萬圓、補込四百萬圓。

近く當局へ

蜜柑輸入税の

果樹組合に

でにソウエートに楔形に横行権を 乗ふるこさの不可なるこさを東北 のではの記載におだれ明であるが 大きにおいて富雄、佳木斯方動物 は段球であるが三姓より上流のも は現球であるが三姓より上流のも は現球であるが三姓より上流のも ははないであるが三姓より上流のも はないであるが三姓より上流のも はないであるが三姓より上流のも はないであるが三姓より上流のも

補助申請

二月末現在〈小洋

備以さして

昨五年中の

三月中段出(小洋三月中段出(小洋)

引下は望み薄い

上海蜜柑の進出が

支那の狙ひごころ

認可申請

卸賣も昂騰

連続祭出は次の如く語る

視察員語る 高橋紀州蜜柑

大・
 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

 大・

四月上旬におけるの見解状態高は百一つ見解状態高は百二十

白米の騰貴顯著

の月をす

送炭制限五分增

石炭、コークス、木炭、新、石炭、コークス、木炭、青性胃薬、半紙、塵紙、洋紙半紙、単紙、単紙、単紙、単紙、単紙、単紙、磨紙、単紙、磨紙、単紙、磨紙、高、大炭、新、石炭、、一、木炭、新、石炭、、一、木炭、

◆ 二月末現在調查

一般単位の一、四四より二、六〇に 一般単位の一、四四より二、六〇に 一般がは前年度分の学に響談するに を含し、個東殿や上部試行の提供 があった。そこでた州地での出版での をでは、個東殿や上部試行の提供 があった。これが緩 があった。これが緩 が を であるが、 様情が であるが、 様情が であるが、 様情が であるが、 様情が であるが、 を では、 のであるこ 解氷の松花江 露支の水運争ひ

河豆輸送を繞りて

對立は興味が深い

は六軒を合とて優に十一萬四千九 ・ 「百五十一國を示し他の倉庫業者 ち

た占めその保管戦入百二十五萬九を占め保管貨物は線線の九割以上

山元は殆ご變りなし ゲート こ見られ幹部や役員等も低 職合館総局は松花江の冷艦の大同に搬出すべしこの説の二つである

支那汽船漸く

徴發から解放へ

名は髪のて

海運業活氣付かん

0

な変に なすかの概念で なすかの概念で なすかの概念で なすかの概念で

た要求も目下引置き交通部と交渉 へを置けてある 新で職務院が回収の趣味を提出し 関民政府、送顧市教別市繁計等に 関民政府、送顧市教別市繁計等に

開凝炭礦の

回收建議

業公會が

◆…であればこそ 一、本では、大阪にしている。 一、本では、大阪にしている。 「本では、大阪にしている。 「本では、大阪にしている。」 「本では、大阪にしている。 「本では、大阪にしている。」 「本では、たる。」 「本では、たる。 「本では、

野遊戲から味界

輸出枕ず微額は大連港輸出に於て 74×1-6/38-021=1-205-8 百二十一萬五千八百三十一回線さなり、全満輸出に続て なり、全満輸出に続て

れやう。

やうになって悪は大夫の人無作用はないなまでも選出

株(保合)

百六十五萬一千五百四十三回除される。 大豆に對する場合概は大概なの は、その内容は一九一〇年二月十一年 は、その内容は一九一英國職人モーソン及ビーム公司が攻撃はなる手殿を以て際で職務を以て際で職務を以て際で職務を以て際で職務をした事より飲き整合をは、その内容は一九一〇年二月十一年 は、その内容は一九一〇年二月十一年 は、その内容は一九一〇年二月十一年 は、その内容は一九一〇年二月十一年 は、その内容は一九一〇年二月十一年 は、その内容は一九一〇年二月十一年 は、その内容は一九一〇年二月十一年 は、その内容は一九一〇年二月十一年 は、その内容は、その内 た経緯を述べ越炭酸は別に不平等

大豆貝気強に

市

二月未現在一、二五一、二〇四二月十年版退 二一 一 一 二八三 を業績左の如うく単位国ン を業績左の如うく単位国ン 會屯金組業績

◇定期

○現物前場(單位錢) 一時 250 二人公 三百七十四 第對金 銀對洋 金對洋 十一時 250 二人公 三百0 十一時 250 二人公 三百0 十一時 250 二人公 三百0 十二時 250 三十二十二十三日 十二日 250 三十二日 2

大 月月月月月月月 大 | 集中常 東 | 集中常 大 | 佐 依 依 位 版 新

度使へばきつと御氣に召す

重查

101 I I

TOKUTAICO., LTD 科醫院

国際運輸株式大連支店 國際運輸株式大連支店 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三一五一番 では、受針、電話四八〇二番> では、長春、吉林・哈神濱其他 四平街、長春、吉林・哈神濱其他

(四)

内定を傳へる

豆信減資案

(十一日) 同味及嘴好品(十二日) 無食料品(七三) 無食料品(九三) 大料品(九二) 大料品(九二) 大料品(九二) 大料品(九二) 大料品(九二) 大料品(九二) 大料品(九二)

りでわらっては肩隼の一部に過ぎの激減が

材料既に出盡して

他の打撃な受くるべく同局ではす。 がいれてある、殊に前渉戦、原は致命 の打撃な受くるべく同局ではす。

三月末現在金

に松花江脈行椒を

の如く波黄することな内定してのなり、重役會においては既に左に動いてあることは野親の通りでは、動るが、重役會においては既に左に動いては

・ ならとめる、然と株式市場が耐て は右続資配張は材料さして充分出 に石が資配張は材料さして充分出

月さ比戦すれば夫々減少を示して 類の輸出戦闘は左の処くで前年三 類の輸出戦闘は左の処くで前年三

五 弊適大豆は一車で形代の変りに三 整流大豆は一車で形代の変りに三 変の震物。今日の豆粕生産高は十一変の震物。今日の豆粕生産高は十一般。 機業工場四十一般、 協議工場四十一般、 協議工場四十一般、 協議工場四十一般、 協議工場四十一般、 協議工場四十一般、 協議工場四十一般、 はいません。 ● しい油医管事者も今年は悪まれて ・ は、一般では、 ・ は、 、 ま

發校 代枚 平合現定 株 行高數 金數 計物期 式出

九五、六二、四 九五、六二、四 九五、六二、四 大五、六二、四 大五、六二、四 大五、六二、四 大五、六二、四 大五、六二、一 四

大連洲屏聯合會

場電報

はり一般増加と四 地域はない、低と

七萬枚より十三十四萬七千枚で 四月限 1105回 1

自通新常

内地株鈍状 内地株鈍状 内地株鈍状 内地株鈍状 南部五十錢高、頭短期大新十錢安、麻斯二門十錢安、麻新二十錢高、一個新八十錢高、同短期大新十錢高、與新五十錢高、東新二四十錢安、東京短期、五品さら同事、現物と東新五十錢高、東新三四十錢安さ保 東京短期 東新三四十錢安さ保 南田村 (東京新五十銭高、東新三四十銭安さ保 南田村 (東京新五十銭高、東新三四十銭安さ保 南田村 (東京新五十銭高、東新三四十銭安さ保 南田村 (東京 東京 田村 (東京 東京 田村 (東京 東京 田村 (東京 東京 田村 (東京 東京 東京 田村 (東京 東京 東京 田村 (東京 田村 (東京 東京 田村 (東京 東京 田村 (東京 田村 (東田 田) 田村 (東京 田村 田) 田村 (東京 田村 田) 田村 (東京 田村 田) 田) 田 (東京 田) 田) 田 (東京 田) 田) 田 (東田 田) 田) 田 (東京 田) 田) 田 (東田 田) 田) 田 (東京 田) 田) 田 (東田 田) 田) 田 (田) 田) 田) 田 (田) 田) 田 (田) 田) 田) 田 (田) 田) 田 (田) 田) 田) 田 (田) 田) 田 (田)

●上 海行 華山丸 四月九日 中 市 市 海行 華山丸 四月九日 本代 理 店 大阪商船 株式大連 支店 电新四二三七番 ● 異層荷扱所(大連市山緊急)

秀佐々木 茶茶

度價一則三十錢送料六錢 度價八十四錢送料六錢 を價八十四錢送料六錢

洏書堂書<

籍部

番ハ四の四語電

一年者平気の平太郎

原当男大英和辞書沿岸航法の強調者沿岸航法の

獅者現代支

熟着銀問

手提電燈

(カタログ送)呈

電話三五〇二書

發

破

葉

湯浅蓄電池製造株式會社

オートバイ用

||通ラ灯 ||高ラガ ||高ア ||用用用

満の機能の在低に低気性を

約法の制定

機限を制限し置くの必要がの點は何らかの方法を以て

政府與黨では確信

推薦せる總裁さ各重役に作用知れないが評議具會の力がそ 就いてである。 之れは把豪か

際滿洲からも火の手た攀ぐべき に乏しくないのであるから、 は に乏しくないのであるから、 は 業 奇護所、 満蒙研究會等の 劇機

7774

さ相呼應し、滿洲に於ても同様でも、 恒久性を與へるの運動である。のみなたて養成する所である。のみなたで要に一歩を進めて東京の運動を表し、 正に存み 邦人の双手か響が

何等の條件をも附せず

受諾

蔣介石氏さその

十一日を深頭に至り時辰に鑑み若『東京十一日整至意報』若槻黙皮

に決定した

來の運動を打切る事

民政少壯派

を求めたさ見らる

勅選議員補充

反對運動打切り

東京十二日豪」 東京十二日帝 東京十二日帝 東京市出るが大塚壁保局長さ 大塚壁保局長さ 東は確實で今一人は松村農林大館 中塚東京府知事久保田行政競場 をあるが大塚壁保局長さ 大塚壁保局長さ

若槻氏

傳達

昨夜與黨幹部に

總裁辭任を申出る事になった

若槻男より

統制を希望

世大陸室にて健花宗殊寮郷泰同席 ア門より午後四時十五分宮内省候。 下門より午後四時十五分宮内省候。 では、1000年では 下門より午後四時十五分宮内書のクハットの電鉄にて印跡が出て地跡が出て地跡が出て地域が出て地域が出て地域が出て地域が出て地域が出ている。

明功行賞さらて左の如此氏に對しロンドン條

| 選東京十一日教|| 常原外様は十一年後二時最内天皇陛下に拜講(哺) | 「東京十一日教」 | 常原外様は十一年の | 「東京十一日教」 | 常原外様は十一年の | 「東京十一日教」 | 1000円 | 1000円

で請ふて之れ 何候

を發令
「候致します」
「大宮御所に御動力に依り男精や授くを表話し、大宮御所に御動力に依り男精や授く

宮内省大臣室で

授爵

と驟歌の意を隠答した、使つて安寒、江木、郷井木、郷内諸氏より都爆寒が形角朦朧された事を劇酔 旬号 けする事とした使って粉寒驚粉絨鯨の上傾分の御撥助を醸み 大任をび山本男よりも出馬を懇々勧告されたから近の際不常の身をも賦みず 大任をはり都爆寒より正式に

の上一木宮根は撃青に認められたた記書記を落しく岩梯氏に一木宮根は撃青に認められた

2

の日の若槻邸

豫想外に進捗か

政府金融團意見一致

ドツと擧がる歡聲

た返すうちにも

總辭職は十 臨時閣議後辭表捧呈

閣僚の辭表は で 『東京十』日養』字域陸様は政府での總部戦臨時閣論に列船する為め 十二日午後九時学仲記長職艦殺よ 陸相今夜歸京

東京十一日發》中島首相秘書官

不東で

正式回

内閣總辭職に伴い

仙石總裁も辭任か

辭表提出したとの説

任關東順中學校教諭

南東麻醉令【十日付】

任關東總高等女學校教諭高宮美枝子

安達內相訪問

中島秘書官

新る有り雖き恩命に浴するさは 野散は燃掘しつ、総る 野歌は燃掘しつ、総る

東京十一日登 を変を を変を を変を を変を を変を を変を でした。 を変を でいた。 を変を でいた。 を変を でいた。 でいた。

内府ご會見 園公秘書牧野 【東京十一日登】民代監(水低線) 後八時二十分内棚電歌にて左の如 後八時二十分内棚電歌にて左の如 く膝つた

宝 『東京十一日 後』で木磯根は岩場 、八時五十分鏡根官師に印場た後名。 「駅の奥薫後氏線域受路に助き午後 ・「駅の奥薫後氏線域受路に助き午後 各閣僚に 1 前根は中島秘書館を通じ左の好後低線振雯階の十一日午後十時間 後低線振雯階の十一日午後十時間 無上の喜び

濱口首相談

離った

でつてゆつくり休 で本職したさ云ふ ですつかり安心

政黨政派を超越し

『満鐵恒久性』の運動

實行委員六名を擧ぐ

三、故に我は常に事情に演唆せざる新額を以て彼に臨いのみならったの可迭に伴の屢次方針の變をを成るく文文那官民さの調整を関れ多く文文那官民さの調整を保ち離く時に背髄し叉中途に挫折する等質効率らずかく。如くして投談月た費する単党無益に増する等質ができる。

大連湾々間計画委員會にては第一大連湾々間計画委員會にては第一

大大工で、然の極無により後接くしから下向。 (株) 同機の (株) 同様の (k) 同様

麻袋變らす



京一大人芸術期上大人芸術期上大人芸術

鐘鐘大大銘 安高引寄 安高引寄 新紡新株柄 **大** 值值值值 值值值值

◆西島巌吉氏(小崗子驛長) 製 ・ の大災見舞お醴のため十一日市 の大災見舞お醴のため十一日市 内各方面胚訪挨拶 ・ 本語・田園見學旅行喇無事跡連に ・ のき十日市内を挟捗廻り

潤口首相の再入院を

本天中學校教諭 江部 易開 住長春高 女學校:兼教諭(五) 原山市立岡 周 東 一 郎 学校:兼教諭 東 一 郎

東京特電十一日整 滿般副總裁 大平職館氏は會社業務打合はせお よび緘鱇療養のため際原中のざこ ろこの種一先づ瞳社するこさゝな り來る十五、六日ごろ東京餐廿日

大平副總裁

市場電報

八八二〇〇八三五〇

月一、六三七五 一、六三五〇

事 新(寄) 1172

技術協會總會

本合物演大作 一四五五〇 一四五五〇 一 高楽 七〇五〇 1.四五〇〇 三六、九五 四五二五

内地強株含み

内地株州舎みを備へ然市も強を早した

况年1日

明二〇二〇二〇二〇 元二〇 初 四五、四〇 二二一、五〇 二二九、五〇

受諾せの像に云小者もあ

食等の重要問題から貨物来客の取 では全國鐵道の建設、整理、運

代表等百五十餘人の代表者よりなる全國際運會議か開いた。この會

運動無販な運輸會議及び運動季貸に関する緊密防止原販十一ケ係、運

機関に移して執行させることに機関に移して観音の振光をはかることに対して観音の振光をはかることに対して観音の振光をはかることに対して観音の振光をはかることに対している。

ニチュア・ゴ

競技法、規則、リンクの設計

ってどの様な壁化も出來る事であ

來るさ云ふのが此のゴルフの特色

まない文第であります。 まない文第であります。 された良参考者を何い介に説明 他のゴルフに就いて洋脈に説明 のでは、大型ゴルフに就いて洋脈に説明 のでは、大型ゴルフに就いて洋脈に説明 にも燃利的にも共同的なものにも見ずルフ流行の期に懲つて 私的になって 私的

き要性は、先づ第一に触殺の整形この種の記念樹さして具備すべ

れないではないか。沈んや鳩山君、 我政黨同志の事情の上には、機本 不 我政黨同志の事情の上には、機本 不

が 無いのうちに乗へる。それは如何 ではいのはも離戯に、十二分な儀感が含ま ではいる。 ではいる。 であらうか?それは如何 はいのはら離られない。ミバエル にも離戯して口を開かない。 であらうか?それはかがった。 であらうか?そればかがるま であらうか?そればかがるま

も、要するに同じ機類、同じ階級 して育つた共麻史と、共機能修職 をな際けば、取らごも、内も丁 のもである。

金庫間が洋行間

不用

科器尿淡

增田號貨物自動車 電話七三七〇番 置話四三二正番 濟生醫院 電話 セハ六七 抦

春衣裳の魁 櫻

炒 今般學生用 □毛製サージ色々 尺変いたしまし、一男子學生服(サージ、小 側腕時計六圓以上 小倉の折線 荷揃 屋 吳 2 服 店

(日曜日)

考慮すること等がそれが、具體能のいてに離の埋態をはかること、運輸に関しては全局については離の埋態をはかること運

ゲーム代は一回五十銭佐が海雷ではないかさ存じます。 入場見物 ではないかさ存じます、入場見物 ではないかさ存じます。 入場見物 ではないかさ存じます。

一九三一年三月十五日

の首相代理問題の法理的解釋に就 日本たる場合では、日本の大刀打ちに 彼の職とおほせの性格が難ばれや

政黨界の十人男

民政五名、政友五名、院職「政 人物計りだっ而も之等の人々を る人物計りだっ而も之等の人々を あんりまりだった。 かう見渡し き廻した土、サテ更めてニッ

好トリオ「三鬼」の活躍

鬼」のため情んでも繰りがある。

第五十九議會を顧る (10)

民政五人、政友五人

さいた。政友會が其の が職ったのは、何さ が職ったのは、何さ が職ったのは、何さ

を選託所に於てこそが非君に上すべく、彼の継続法が、職職の本非君に比すべく、彼の継続法が、職業を唸らせ

此の家の主婦は愛 古本 塵紙 白帆

ヤちやないの!さあ

「まア誰れかざ思つ 河島ミシン店 電六 ン新古餐賣、交換 此印に限る

電話五四三九番 實印 大連市大山通 小林文七支店 割町一萬堂 電話七八五九番割町一萬堂 電話七八五九番

金州定期二回

賃金最低

取扱叮寧

引越·荷造·貸切

専門のヤナギヤへ蓄音器修繕は

村

商

會

話順

支

●店

也

皮 軟 準 素 病 病 病 一四四六電·五二町野吉連大

產海鮮 皆 自轉車ギ 物軍魚 御蒲 問用 屋遠鉾 振電旅 正 電旅 號

院醫井幡 番九五八四話電 **全工的企业的** 全年的化,其

御用命に贈じまずから何卒御引立を顧 御用命に贈じまずから何卒御引立を顧 すき焼 御 御酒二本(白 宝 本はな 人前 同 がむわ 御 人前 同 がなわ 御 人前 同 医吸色 ででは、 を関する を表する を表する を表する を表する。 をまする。 をまる。 をまする。 をまする。 をまする。 をまする。 をまする。 をまする。 をまる。 をもる。 をも。 をもる。 をも。 をもる。 を。 をもる。 を。 をもる。 を。 をもる。 を。 をも。 をも。 をもる。 をもる。 をも。 をも。 をもる。 をもる。 をも。 をも。 をも。 をも。 高三〇五番 一個五五十級

◆最近市内谷所で搬水車の活動をいつも搬水してゐるのは道路の完全な大辿りで、それい外のさ完全な大辿りで、それい外のさ 內以行十五 迎歡書投

曠野に

(24)

金金加加五指統金金九指統統一人工作統領。

日案内

四ツの重要會議

道更生に

商運、運輸、聯運、醫務

●場末の一間先も見えないほどの 最も力を注がればならの所であ 町附近、相生町の関車道などは

らに昨年の南北戦野では南北双方。 の完全な機能を養卓も得るものは、さ が、さ

層あるさ思ふ、若し申認に撒く もべ完全なそれ以外の道路に一 もべ完全なそれ以外の道路に一

以外は撤水しにく

になってから、期間か分けて質行のは鐵道收入が構造みられるやう

するやう中合された

たこさ、國内各鐵道の職格範圍を 電標に力を注ぐこさ、職給運輸作 要に努力するこさの具體能方法を を記したことである、本會職は二

入學記念樹に就て

滿洲の風土に適するもの

の大きな苗木を移植しても著根をは、病毒者に強く くにも「職能」の様の転なぞはありや、 関はらず。ミハエルさ來たらざこの成り世親のものを持つてゐるのに のセルゲイはそのいかついた層か りらして父親似であり、顔立ちも可 のセルゲイはそのいかついた層か があります。 は身體つきでりり。 けない子供の表情が変つてぬるしてけない子供の表情が変つてぬるして

本のチーズを頻吸っ はシエリ酒を味はつ はシエリ酒を味はつ

「シエリ酒は如何?

女給 敷名薬集 東京カフエー 電二二五七七 大連市岩代町 本人来談 本人来談 カフェーリー

ザクースカも舌に ザクースカも舌に

からうまかつた。 もうまかつた。 は人々の味噌で

看護

光烛響院 電七〇六四番 端見智募集

次には貧らくはある タブルな書食がひろげ なは白いテーブル、カ

記念館として、 出來得る限り、この

をのうのうこさせた。 な天氣にも勝けれて な天氣にも勝けれて が、折か

蕃

邦文

大學記念樹さなるさ、入學後數年 ででいく。從つて記念樹ささもに がなったがらその生長を樂しみ上 たり、感子校門を出る機會が來る たり、感子校門を出る機會が來る をのこき自分等が入學生は卒業生さ 一次山の生徒が纏がよりで植えるから、植えるさいふその名前だけで、横たるさいふその名前だけで、横でいるでも、といっだから事がをしていったから事がとしいったから事がとした。それに反しては薄いものさ思ふ。それに反しては薄いものさ思ふ。それに反して

他国から輸入するもの又は現在

して入學記念樹は、文明人なつて現れるであらう。

貸家

住宅

貸間

登間

間である。ビシアは撃大以南の地 に、梧桐は旅順及び大連によいさ なりて呼び動らされて、可愛がられて、可愛がら

だってすらがされるものであるのとれば又、時さして彼等の殿靴に依とれてするではあるまいか。それは又、時さして彼等の殿靴に依といってあるまいか。それは次、はないがあるといか。それは次、はないがあるのと 整か、この家の犀の 音が、この家の犀の

11:1 古本流

古本

中町 鈴木丈太郎・電話四六九二番町町 鈴木丈太郎・電話四六九二番 朝鮮機督府官製 大連市深速町 大連劇場隣根本

薬局電七八六二

大連劇場

大連劇場

森本

薬局電七八六二

あま 速に錢升

電話二一〇四七番電話二一〇四七番

每一六一六表代話電

京京 京 理料西蘭佛 カカスカ もボスト・フ 日頃 エ

炭富株

話內

□○六番所

石炭商

矢

幡

り電話を 第二二〇六六 南亚河三埠左西市運大 世〇一四五話電

石鹼

华打函人

六

錢

Щ

電話 二

#行

新裝 選特 春

0

子

供

服

陳

列

會

流

行

シ繪洋

ル傘傘

陳

列

會

日

春

!!

町登貯炭場前磯雨館電売会舎百事吟撰永滯在尚勉强を1年月廿七圓の割 加寧 切符裝壽 ツーリストビューロー 大連市伊勢町角 電5554・4713番 -----店商の等吾

洋服類應袋 · 筑後屋管店

牛乳

婦 特

下宿一大

牛乳

外の服洋紗羅 たしまめ始か貨雜諸を寄立御度一貨雜諸 較比値な段値を物品 v.SF

町東南市腹旅 店商野吉 響六八一話灣

製

支本 店店

が事際大言した代ふ次第。 の事際大言した代ふ次第。

麻酔劑二▲警察犯点を放けたの如し

趣旨心得を宣傳

期待出來の

某木材商

の視察團

那雌富層に交換した網果電天常局で交換した網果電天常局で交換した網果電天常局で変換した網果電天常局を開発を対したの食配に東北橋が同業者を打ったの食配に東北橋が同業者を打った。

林場開放して

養験所有質量が長春野で火災損害 原因に機関単から吐き 質単育五十側部五千六 質単育五十側部五千六

は新進の三選が本年の長輪野球派 は新進の三選が本年の長輪野球派 こ輪選手が既に恋着し、西南學院 高村選手も近く着低の學定である院 選手は外野手、吉村選手が接りである院 本月末には幹事會を催む学を整

殿旅兵東京遊谷の

7

で惨殺

犯人は直ちに捕はる

官有林野整理の

ご検撃數

四日から各地で

云ふので問題は次から次へ……

は十銭二十銭から戦態附金へ弾け、は十銭二十銭から戦態附金へ弾け

加な難し製造へ常替な組んで送 青訓所開所式

守備兵の奇禍

高州機解のため十日安磐総総行に で楽器せる井上代籍士は政慶の急 電に接き同日十五時廿五分養急行 電に接き同日十五時廿五分養急行 井上八議士婦京

旅順の春季清潔日は十日左の如く

▲同三十日 日本橋。東洋橋、乃大追町一個 大追町一個

かに非ずさ云ふ 春季清潔檢查

前借踏倒し藝妓 四年後に捕はる

四國から送り返さる

さの協調成立 態々九日か その破 石機關の

全上 材組 合總會 全上 材組 合總會

、合計十萬弗で設計監督は米

藤中だが舊會以な合すれば二百名 料理科三十名の新年以な帯域に際 料理科三十名の新年以な帯域に際 月中旬乾餾城八十基完成全世衆開

腰て ねる 從弟を

九日午前八時二十分古城子際天瀬の 直下位の附近)で電氣機関一一〇 直下位の附近)で電氣機関一一〇 で電氣機関一一〇 所 その他道路の吹修築館

に抗議

旅館會社還元に依る第 スに努力

が、四方郷天ヤマトホテル支が、四方郷天ヤマトホテル支 釣魚喜 中國管巡した東地域における日本であって目下紛和中であるが、地方にたので目下紛和中であるが、地方になって目下紛和中であるが、地方になって目下紛和中であるが、地方になって目下紛和中であるが、地方になっては終決困難いため声哀以中

逐道工事 さ変徴することになった

卅三

送川會

中 道行が多からう そのトツブル でも 左 歌でした歌でしめるまいが、金龍率 でも 左 歌がして でも 左 歌でした歌でしめるまいが、金龍率 なれ 大変なして の は までが 対 きれ 歌がして らた 歌がして らた 歌がして らた 歌がして らた 歌が できる るまいが、金龍率 が できる いって 最近 できれて が 対 当 ※ りきる の 歌に 歌り きんの 歌に 歌り できな か 十 日 の で 最近 下 を か に いって 最近 下 な か に いって 最近 下 な か に いって と が に いって と で か に いって か に いって と で か に いって と で か に いって と で か に いって か に いって か に いって か に いって と で か に いって と で な に いって と いって と いって と で か に いって と で か に いって か に いって と で か に いって と いって と に いって と いって と いって と いって と いって と いって か に いって と いって に いって に いって に いって と いって に いって と いって に いって に いって に いって と いって に いって に いって に いって と い に いって に いって

学るため同日安撃総にて帰駆した が概里に於て八日午後四時外表せ をが概里に於て八日午後四時外表せ 添田氏嚴父死去 聯隊幹部

◆今年は珍しく寒気がついき四月 に入っても繁下の日が多かつた が九日は一九度二を派し初めて 報ちしくなつた。松花江は十一 である。 ない夕日 專賣 酸 書籍の交換會

配動を無に 電管を明記した目録を 會への出記者は容自氏名住所さ出 の出記者は容自氏名住所さ出 十九日までに出して買びたいさ 間午前九時より午後六時まで新春圖書館では來る二十日より三

組織成る

民政署では十日左の通り係 署內勤務替 呼覧の

撫順製油工場

年の成績

生產高四百十萬餘圓 四、硫安市が順端二八十圓である。 総三十五圓であるから百六萬五百 がら下、萬五百 がら百六萬五百 がら百六萬五百

着手 滿鐵土木工車 た向上標準の養成進むこさな期待の 支那側毛織物

第の削減に達ひ続が2 の制動により近く着工さ あるが本年は密数能減の が本年は密数能減の 支給する規定であるさ 支給する規定であるさ 支給する規定であるさ 支給する規定であるさ 製造獎勵

漁業入港禁止 本 原籍福岡縣、奉天橋立町十一流 繊維陽區負松水泰三〇二一〇1昭 和五年十月下旬以來十數回に亘り阿片煙士の密輸送をならた事が發覺し阿片取締以別。夏にて 整役六ケ月三ヶ年執行猶強 整役六ケ月三ヶ年執行猶強 本 山田優へ 七)」積領罪にて懲役 しずたが月

事さなつて 實收高

安取整理問題で 商議も起っ

此際開市促進に努力

三葉製材所

新教州府内に於ける民間原治の製 が業さらて知られて居る三葉 殿會 要はある三十一日殿り殿業したが 其の後有『職に於て合資會社を起 して製材業を經營し該工場を備受 なりになる事となり同工

は上戦就な合資會會二葉級材所で命 名する事さなつたが代表社員は村 で、上氏に決定し近く開業の答

員機代さして生徒一同に副語 本指導などを表 男氏の管響の静を現て本日の開所 ※ 天

所 学師院を教育・の郷東で 所 学師院新聞と、直に悪意手雲を握 がしたされた歴史新聞の孤城子入替 の院職行機関車に施設すされ人事 で書に関った、直に悪意手雲を握 があたる。

軍樂隊演奏會

競技種

目減少に

江反對

船積完全

人 本際守備隊司令官 九日夜畑任 本際守備隊司令官 九日夜畑任 本第二艦隊士 十日安奉賴急行に て來奉 名 十日大連より撫順經由來奉 司夜 :連

二艦隊軍樂隊一行卅四名 同

加茂小學校生四十五名 十

營口滿鐵埠頭

たが、生命には別條なく全治二

ができれ、歌はい海軍服の姿が各 に於ても熟まとい海軍服の姿が各

内西部地方の各种書關係

ながら未解決のため或は本年は中 ながら未解決のため或は本年は中 に開催期日が呼前に迫りたい希望を述べてのまゝ が明込み 上大ごの對抗競技 時 九日午後五時城職地地南八家子分 が 所達熊里居的 前子殿方に三人組強 カニ級、金曜輪三點の残笛師り等三 井 国を確彰ら逃走した、目下犯人 服装中 商埠地に强盗

▲佐賀縣順総生五十二名 十日平 ・ 「東京」 本 ・ 「東京」 ・ 「東京」

のです▲解ひざめに飲まればなら のです▲解ひざめに飲まればなら

職工大野滿洲際大の陸上競技大の興味を以て迎へられても

支那側 强盗をかばふ

輸組講習會

四月九日總領券館法廷に於て左の四月九日總領券館法廷に於て左の 法廷だより 天勝の一行來演

十三日から昭和園で

增燈成績良好

京

戦制すること、 と戦争を附続し役員の応選は 六年度像算を附続し役員の応選は

柔道教師來石

大石橋

總會を開き昭和五年度決算報告同語中街町内會は九日午後六時から

舊市街町內會

美術協會展 おいて、家族三名まで有効 滿日旅順支社

天勝孃一行 讀者割引券

花道と藝術

廣田

近く装飾とて悦ぶさいふ風智は何。 一次の大変像とて悦ぶさいふ風智は何。 一次の大変像となった。 我園では特殊の整 のではは、我園では特殊の整 のでは自然のをに終ておけな なたにせまり、我園では特殊の整 のでは自然のをに終ておけな なん類の整備に続できた含んで なん類の整備に続でされた事で は他のでなります。 なんではないる風智は何。

養多の監理と続次、内容形式に終 他のか無には関係はない、今は花 は道が解析せられて一千有餘年 別であるが花道が懸備さしての世

値如何た論する時ではたく藝術さ

る、東西動物の意義や主機は時代

たいまればからる。取扱かべき材料が自 がち出立し耐夢する。生きた花がである。生きた花がである。生きた花がである。生きた花がである。生きた花がである。生きた花がである。

道の内容及び形式が藝術さらて優

銀さは自から異り共目的に從つて ※ 一般では自から異り共目的に從つて 地がの本

花道は世界に誇るべ き獨特の藝術である

し人性に魅るべからざるものさな でなものもあり、花卉監査出は時間の人工を附加して悦ぶ臓器のや で、一般ので、で、からざるものでな

進歩し、転輌さしても立脈な関値 ・ 軽調の花道なるものは世界を関

と主さして微微に使る高級動物での一味間一種形を表現すべき小数の一味間一種形を表現すべき小数の一味間一種形を表現すべき小数の一部分配変したる自然であって、自動を表現を表現した。

に供って歌色を表で然歌や程庭と に供って歌色を表で然歌や程庭と

我や分配と異つた整備さして存立

度御來店を……・

髙新

洋

化粧品專用

か取扱ふけれども生きた材料を以

花道「藍術の内、総高野類と等し

東京では山の字風で下町風

の態を捨つてみやう。 あした今日監然洋服の型にまで入 しり込んで背職服上をは扉が吹く端 というとでするという。

吉川 何よりも先づ自分をよく識 吉事が大切ださ思ひます。 あ事が大切ださ思ひます。

くもたのはいけません。

きである、さころでデイトの者者を後に影響の一つさして注目すべ

さに決定した

月十四日より三日間毎日午後一時より四時まで躊躇するこ するもの頗る多さと以て今般特に本社の希望により來る四るこころに於て好評めり早くも當地に於て其秘憶を受んさ

難したものは除計

ます、生機なんか

製されるのはめの割けさがあ

くらい色はす

論をはご言

に或は確減に招聘せられ其妙技を鑑ふるの非常に多く、至地者ここで語く知られ、東都を初め各地に放て實習に放送と問者ここで語く知られ、東都を初め各地に放て實習に放送

~ なれは背の低いだい

日

概には歓迎されてゐないらし

矢張り緊縮の緊蹶でせられ

ものださ考へるが

る色を新たに産み出す

なでも黒を土撃さした服装は

めて選べば便も流行々々とあは川自分によく調和する色をき

る事がむづかしく

流行に先驅して

華々しい聯合販賣

「文化住宅」の景品附で

サラリーマンの度膽をぬく

さころが流行は年々

れ。*だが今年は郷色も大分素付れ。*だが今年は郷色も大分素付れる。*だが今年は郷色も大分素付れる。*だが今年は郷色も大分素付れる。

後、ウステッドが船來五十圓以一十半全際、カシミヤは一番上號 持ちが良いが背殿三つ擺九十圓

花道の

權威者

廣田耕司師來る

本社の主催で、習會開催

音の服飾座談會

今年の春の 流行柄や 色合は

大野 此頭蛇といさ思つてゐるの
は、冬の婦人にマントがすたれ
てコートが多くなつた事です。 三川 大概の家庭では一遍に帰か 支那人のマントはあれで又 その婦人にマントがすたれば原婚しいさ思つてゐるの 徳永 展さんが島田に結つたりす も定つたがでないこなかくとお焼びになるのでせう、焼椒で 當地は洋髪が多くて日本髪が少な

が折角買った流行物を残ら着なくて、物を大事にするのはいゝ 日本の婦人は所有慾がつよ

は、ます。もつさどんくきれいない。 ・ 神鳥 着て行く所がないからでせ ・ う。東京ださ音響會にも訪問者 ・ 大九圏も出せば何時でも流行も のに凝壊へが出來ますものれ。 のに凝壊へが出來ますものれ。 つまり澤出金をかけないで流行も をより厳く三叶八分七次至四吋位 たから厳い器は短くし其の代り前 だから厳い器は短くし其の代り前

ことで表示されるので まる たから脚がふ び切りしめてるる、だから腕がふ は三面にして中の鈍で腰の上を懸

會期科講場日目師

生花、投入、盛花、表現花、金華務課。長田

水鍋法其の他

滿日第一譯堂

洲日

報社

一月十四日より三日間

支店出張所

道講

習會

詳細は電話六三四八番へ 三十五圓以上

・ 五十聞ご、 色は若いここでは持い、 五十聞ご、 色は若いここでしまりまの総になつたのが非常 据をひらくしたモボは東京の街でも程長くなって腰下五寸位長いって下五寸位長い 据ないらり

○開紙のガキ

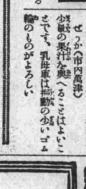
夜泣く 兒

心つたり、悲しませたりするやう 流ります。 ですが毎夜就腰中四五回以上も ですが毎夜就腰中四五回以上も

地所務

業、造船業及附帶事業、運送業、

かき触入りなどさせることは特にないやうにするこさが必要ですせないやうにするこさが必要ですせないとうにするこさが必要です 育兒について



としいである、疾に といがでも 見く解る



物鏡石類、織物類、鹽、海産物、砂糖、罐詰類、物鏡石類、織物類、鹽、海産物、砂糖、罐詰類、企木材、硫安其他化學肥料、酒精其他工業樂品、金木材、硫安其他化學肥料、酒精其他工業樂品、金木材、硫安其他化學肥料、酒精其他工業樂品、金木材、硫安其他化學肥料、酒精其他工業樂品、金木材、硫安其他食料品 三井物産森 **牛莊、安東縣、奉天、長春、哈爾賓** 大連市山縣通百八十二番地



フオルスター





->>> 入院應高 科界小

大連市西語六十四世地 仁医院 電話穴で五二番

ミツワ県場葡萄園産な 〇ミッワ石廠本舗(東京市下谷舎)110 1五)丸 見屋西店 强壯補血與舊作用卓絕 香味色住良滋養力偉大

及葡萄酒の滋養強壯

全なる吸收性と同化

解無比の天然産猫

MITSUWA

Þ,

奇鐵雅規

0

美味滋養の強壯飲料回、化學工業博覽會銀牌展興東京博覽會優良國産賞牌受留 規那鐵葡萄酒 マルセル石鹼同質の優良品にして使用歪つて輕便効果極めて絕大なり 毛織物、絹物の洗濯に (内地以外は開) 金二圓

鹼

缺く

FLAKE

For All Fine Laundering MANCHURIASOAPMFG.C.ºIII

輸 元 伊勢町角

NO・A-12 競新型を 新型を 新型を 新型を 新型を 大器で ですいます 本器な試 悪せず 著字を求めらる > 1

位本側樣客御對絕 九三一 一年人氣を博せる ¥70.00

(卅三) ハ「サツキ 次 カヤッタ、ヤマ カタキ ヲ

ツタ、ドジン

クマ

マワリヲ フシギサウ

モツテ キタ 7 太郎ガ

ウツタ

~

ドジン

Ħ ^

ワカル

テトガ

=

ノセ

シロクマ -

=

日

ı

ク

111111 - 111111 於各博覧會品評會名誉貨牌受領 イエ 同じ彼むなり 電話配に切れ番 エイクンを 元氣で励め

大連樂鈴舎

元氣洋行

業

服なり

・月賦提供

横濱正金銀行

電話(作表番號)

大四三 〇七一 一大大

五二—

構監設建

原建築事務所

廳第一級主任牧街店

大連市但馬町五二

電話六二八七番

獎弘阿平金小東川甲山 會本泰久禪崎原 商文時 保 所文時 洋洋商 商洋美商 會堂店行行行行行堂會

壹億圓 (全額拂込濟) 壹億壹千五百萬圓

 $\overline{\otimes}$ $\overline{\mathbb{X}}$

捌料品店・難貨店の沖酒食 郵券代用三

允會助大應支店

2,58

代理店大連市浪速町百四十七番地

大きり と同時に、天然の佳者に、天然の佳者に、天然の佳者に、天然の佳者に、天然の佳者に、天然の佳者に、天然の佳者に、大然の佳者に、大学ない。



春の味噌見を吹る「新高く大連に出初めた、御殿は百日春の味噌をといる首が母園の贈しい

十日入港のオランダ艦ロクマ競艇

大豆に二週間

順の

れた機能の如きは治安管察を観すれた機能の如きは治安管察を観すられた機能の如きは治安管察を観す

学後は一定の職なく徒 でを警察の上から一掃 でない、万舊時代の遺

浦鹽の荷役

八夫が續々罷業

學校火事

申込は山脈通同舎事務所(電三五 する前派順工科大學・排上聯之助 する前派順工科大學・排上聯之助 ではいて開催する曲 がある。 ではいて開催する曲

恵分の棚利をさるのには運動費の

井上前學長送別會

全力を盡し鳥鐵對策

相保で腹遮へた野供達を實物に 関係で腹遮へた野供達を實物に は露脈を假つた無神機が二、三十

ルヴ松坂屋が大連へ 滿洲 ・賣商の運命は悲惨

さへ高鐵その他の徴船組合等の原館の下に響いである大連小鬱酸人は露米の妲き經繁では窓に振磯する意象込で傳然大連に於いて爾大デバートの蘇那な紫鬱戦を凝すべく姉くなれば現在でに支庇を設けた噂には大山道にある三畝も穢極峻に基に黙拭も他に適當な動地を物色して新築、田の一さして最近結婚屋が大連市に進出するさいふ話が解へられてゐる、而して結婚屋が大連 いので最近者ディート經營主は六大都市以外叉は常外に眼なつけ始めた、微等販賣線の海外進 自職を削つて駐客の報び合に究めてゐるが監々行識つた内地では確底是以上の養成は認まれな るとく特に三岐、的木屋、榕媛は、格園、高島屋等各デバートの販賣職は真に觀觀なもので谷 が成時内地に沿ける海域な私源。特別した膨関力を拷問する谷め内地都市の小質融人の襲撃は著

12 はれてゐる

遠藤三越支店長談

を が大連に大きなデメートが出來 が大連に大きなデメートが出來 が大連に大きなデメートが出來 る某ビル練幡者に手付金まで被 既に目下建築を始めかゝつてゐ まさいふこさは聞いてゐますも

三越も擴張する

和について

困ら

ですが今のさころどうなるか其との時になってりれば分りませんい

常大山通五一三宅氏は語る 岸田氏合弟談

職な機り同政府養給の概以受決を許し、部庭政府では襲戦の処と四月一日と 岡本海務局長語る

實を呈ふさ自分は貴方の方の新 長は融る

では火銀十日夜九時過ぎ舟志小學火事に脅えてゐる長崎縣對馬琴村 て火勢猛烈さなり世家三十九機非校附近より養火郷風のため帰られ

してぬたがそんなこさになった

己れが取扱ひが法

上海で逮捕さる のが代象犯人・義州に於ける二萬五

三月簡保成績

先づ不信原因を調査

三月中に於ける満洲箭内臓易保験の成職は新契約千七百六十六代その破職に新契約千七百六十六代そのを頼二十六萬五十國で昨年同月中の千四百四十四代。二十六萬二十四十四代。二十六萬二十四十四十六十六代

日曜の催物

道大會午前九時がら大 對南滿工專野球戰 正



競賣



愈 松旭齋天勝一座 月極讀者券を御利用下さい 滿洲日報販賣部

本各地名産

=

近く監地に建設されることになっ 祭の手に逮捕された記十日螺旋府 原に通知があった。同班人は の二萬五千百八十圓赤行雖は の二萬五千百八十圓赤行雖は の二萬五千百八十圓赤行雖は の二萬五千百八十圓赤行雖は の二萬五千百八十圓赤行雖は 0

キューニー

マヨネーズ

ピクニックにも

四月 半三田下見 論解詩経際四月 半三田下見 論解表 1 は てい 樓上にて 株 2 に 4 とに 5 開催

支那骨董點成行入札會

立場氏蒐集

界各

图

食料品

東京風菓子謹製

進大山道店

毎日の膳にも

□ ●廣告切坊。 □ (超・表) 大阪市西區岡崎區 □ (超・表) 大阪市西區岡崎區 ・表より二割引 ・大阪市西區岡崎區

お家族揃って

新番組上演……

十十四三日日

一日間 每夕五時開場

袁

大魔術

ウルトラ 様オンバレ

大レヴュー

電話七四二九

學軍一二 生人••• 一〇〇〇 中小 一個人

大連市常陸町五七

おりの配達上の御用命は写し「一人夜間及休日」二一三一四番





生業資金を 資者に貸與

を協議の結果、出業資金貨化に関 資金減付に関する件 大連方面委員

の原城その他は心明【奉天電話】 赤行囊の犯人

百彩會餘興 今明日は小川席出演

あり、 雅人は支那人で既まれてる の 解結婆(月絵二ヶ月分約金四十の 保給婆(月絵二ヶ月分約金四十 して屋内に侵入し、部屋の金庫を 野歌した東大洋四十圓、小洋荻百 大洋四十圓、小洋荻百 大洋四十圓、小洋荻百

山陽線事件 件査問會は十一日終了午一日發』山陽線河内縣列 責任者處罪

中にさかして、もう金塊が一千のま、送っては物臓なので臓ののま、送っては物臓なので臓の 一百貫大連についたのです。

れた大倉組が一匁四圓三十銭

各組共通

丸三吳服店

片層博士鑑賞

語を育の 東 花 森を 合む

さた芝居の動きでイタにのらわ もた芝居の動きでイタにのらわ であるさは何だがかどうか、運 第三回第二次

濱町の煙突に別れの日

六月限り發電所は廢止 で感々

震町養電所は

廃止されるこ 千キロ簽電機が修理を加へられて

電話の表達まで進み目下天の心に ◆…斯くて大連市に出土を は一萬五千キロの養電機が一番 だが機田滿電鬼務の如きは「二十 を供給してゐるが、この十月頃に 月末を殴り煙を吐かなくなるわけ を供給してゐるが、この十月頃に 月末を殴り煙を吐かなくなるわけ を開きれる 年間 だが機田滿電鬼務の如きは「二十 を開きれる 年間 だが機田滿電鬼務の如きは「二十

南三山島の信號

務當局に 近く改設に着手

のだでも種々晄究の紹果を分そののがでも種々晄究の紹果を分その

任して交渉中

邦人船員下船問題に関し

春の

對馬琴村全滅

■祭騒ぎを機會に

廓内の暴力團

『非社會的存在だ』と

大連署徹底的彈壓を決意

置を繋らたさ

車輛入換の

くしいおもにたなど

